

令和8年産

稲作情報 No. 3 津南版

令和8年5月8日発行

十日町地域農業振興協議会

JA 魚沼、十日町市、津南町、

NOSAI 新潟魚沼支所、

十日町農業普及指導センター

LINE で情報発信中！

・水稻栽培情報
・消雪情報など

友達登録は
こちらから



中干しやケイ酸追肥で異常気象に備えましょう！

○倒伏防止のため、田植え 25 日後に茎数を確認し、遅れずに中干しを開始しましょう！

○十日町・津南地域の土壌は、可給態ケイ酸が不足傾向にあるため、ケイ酸を含む資材を追肥して高温時の品質低下を防ぎましょう！

○斑点米カメムシ類の密度を抑えるため、畦畔及びほ場内の雑草防除を行いましょう！

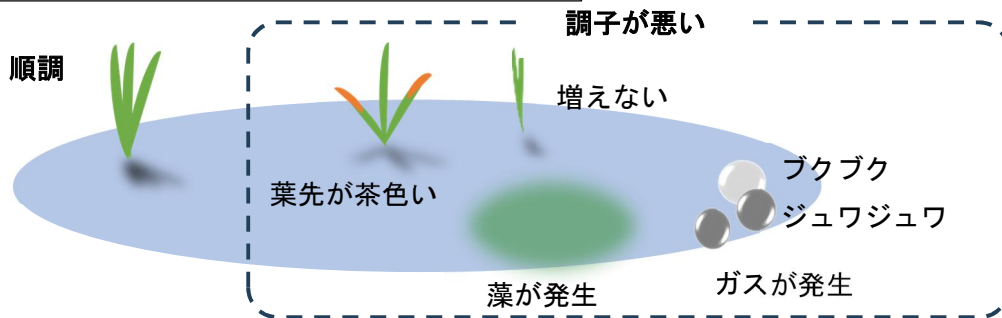
1 ワキ対策

○田植え後に高温・多照となった場合、ひこばえや生わらが多く残っていたほ場や、春に田面が十分乾かなかつたほ場では「ワキ（有機物の分解によって発生するガス）」が多く発生します。

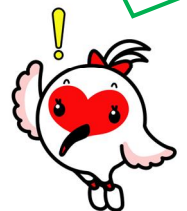
○「ワキ」の発生による初期生育の停滞が見られたら、夜干し等で一時的に落水（ガス抜き）し、根腐れや生育停滞を防止しましょう。

○一時的に落水する場合は、除草剤の効果を維持するため、田面の湿潤を保つようにしましょう。
※除草剤処理後7日間は落水やかけ流しはしないでください。それ以降は、2～3日程度落水しても、除草効果に影響はありません。

稲や田の状況から落水を判断するめやす



苗の活着、分けつが遅い場合は、田面が乾かない程度に落水しましょう。



2 中干し・溝切り

(1) 中干し・溝切りの効果

中干しの効果	溝切りの効果
○無効茎の発生や下位節間の伸長を抑制⇒倒伏軽減 ○受光態勢の向上 ○根の健全化 ○地耐力の向上	○中干し効果の増大 ○迅速なかん水 ○排水性の向上

表1 中干し実証ほの結果 (R3 十日町市新屋敷)

中干し開始時期	稈長 cm	収量 kg/10a	整粒歩合 %	倒伏程度
田植え 25 日後	94	563	70.5	0
田植え 35 日後	100	559	68.0	1

※稈長：地際部から穂首までの長さ(長いほど倒伏しやすくなる)

※倒伏程度：0～5 の6段階で評価



図1 中干しの開始時期別の成熟期の姿 (R3 十日町市新屋敷)

中干しを早めに開始した方が倒伏程度が小さい！

(2) 中干し開始のめやす

- 目標穂数の7～8割の茎数を確保したら、直ちに中干しを始めましょう(田植え 25 日後がめやす)。
- 地力の高いほ場や、田植え後の高温等で茎数が急増する恐れがある場合は、目標穂数の6～7割の茎数で中干しを開始しましょう。
- 茎数が少なくても、ガス抜きをかねて、遅くとも田植え 30 日後には中干しを始めましょう。
- ※大区画ほ場や排水不良ほ場では、排水に時間がかかり中干し効果の発現が遅れやすいため、めやすより早めに開始しましょう。

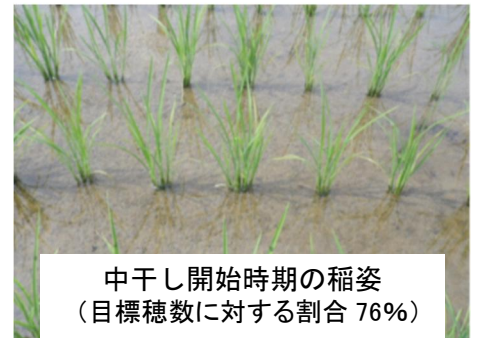
用水が少ない場合は、降雨に合わせて落水し、軽くガスを抜くことで、根の健全化を図りましょう。



表2 中干し開始めやすの茎数 (コシヒカリ)

目標穂数 (本/m ²)	目標穂数に対する割合	中干し開始めやす (本/株)	
		(本/m ²)	(本/株)
350	7～8割	245～280	16～18
	6～7割※	210～245	13～16

※地力の高いほ場や田植え後の高温等で茎数が急増する恐れがある場合



中干し開始時期の稲姿
(目標穂数に対する割合 76%)

(3) 溝切り

- 落水して軽く地固めしてから、8～10条おきに溝を切ります。
- 溝の深さは10cm以上を確保しましょう。
- 溝と溝をつなぎ、必ず水尻(排水口)に連結させましょう。

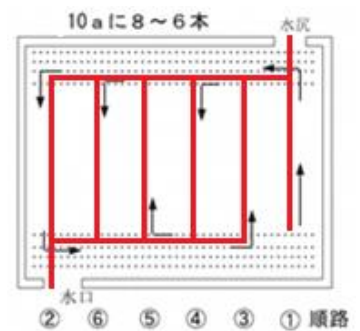


図2 溝切りの順序

(4) 中干し終了のめやす

- 田面に小さなヒビが入り、軽く足跡がつく程度になったら終了しましょう。強い中干しは、根を切り、新しい根の発生を遅らせるため、異常高温時に品質が低下します。

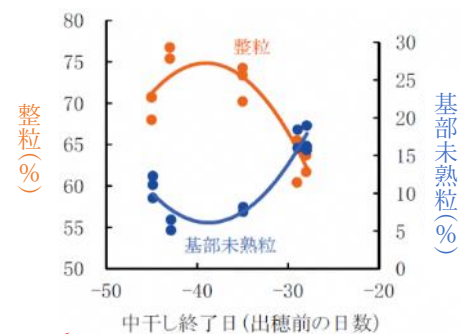


図3 中干し終了時期と基部未熟粒 (H22年 作研セ)

○遅くとも出穂の1か月前までに中干しを終了しましょう。

中干し終了が遅れると、根域が縮小し、高温年に品質が低下します。

(5) 中干し終了後の水管理

- 中干し終了後は、間断かん水を行った後、ほ場が湿った状態を維持する水管理(飽水管理)により根の健全化を図りましょう。
- 高温下での長期間湛水は根腐れの発生につながるため、こまめな水管理を行いましょう。

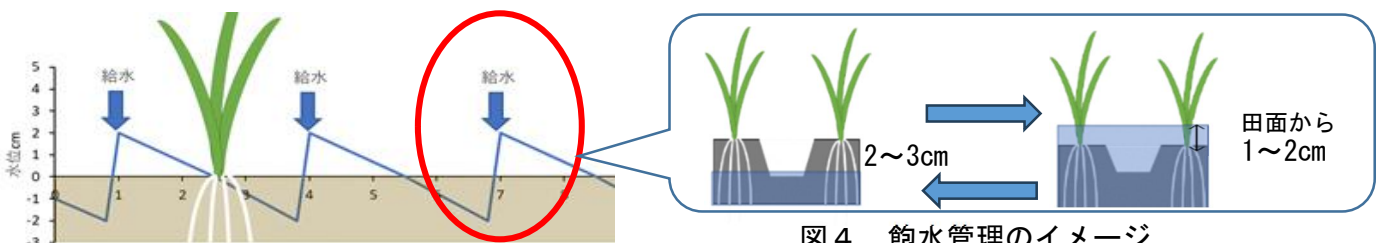


図4 飽水管理のイメージ

3 ケイ酸追肥

十日町・津南地域の土壌は可給態ケイ酸が不足傾向にあります...



- ケイ酸を含む土づくり肥料を施用することで、茎葉の強度を高め倒伏を抑制するほか、根の水分吸収力が向上し、**登熟期が高温になっても、品質低下が軽減**されます。
- 近年ケイ酸を施用していないほ場（ケイ酸施用による土づくりを実施していないほ場）は、**出穂期 35～40 日前から 1 回目穂肥の時期に施用**しましょう。

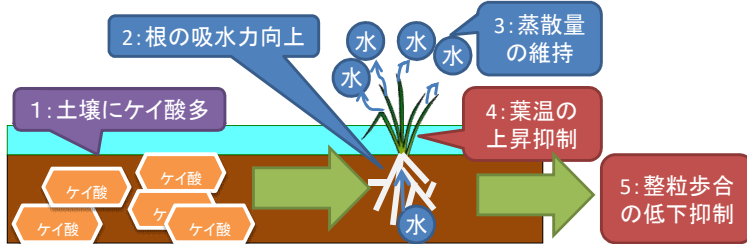


図5 登熟期が高温の場合のケイ酸が稲に与える影響

4 病虫害防除

昨年多発したため、重点的に取り組みましょう。

(1) 斑点米カメムシ類

- 昨年は、斑点米カメムシ類による斑点米が増加しコシヒカリの格落ち理由の第2位となりました。
- 斑点米カメムシ類は出穂したイネ科雑草を好み、**主に休耕田や農道、畦畔などで増殖**した後、稲の出穂後に水田へ侵入して加害します。特に、**夏に高温が続くと多発生する傾向**にあります。
- 斑点米の発生防止のため、**5月下旬から雑草が結実しない間隔（約3週間）で畦畔の草刈りを行い、斑点米カメムシ類の密度を低く抑えましょう。**
- 斑点米カメムシ類は水田内の雑草（ヒエやホタルイ）でも増殖するため、**ほ場内の雑草除去もしっかり行いましょう。**

(2) いもち病

- 高温多湿の気象が続く場合は、いもち病が発生しやすくなり、**発生した場合は、収量・品質に多大な影響**が生じます。
- コシヒカリBL以外の品種では、育苗箱施用剤や水面施用剤等を用いて、葉いもち及び穂いもち防除を必ず実施**しましょう。
- 補植用の苗はいもち病の伝染源**になるので、補植が終わったら**すみやかに撤去**しましょう。

表3 R7 十日町・津南地域の土壌分析結果

	可給態ケイ酸含量 (mg/100g乾土)	
8地点平均	8.8	
水田土壌の改良目標値	低地土	台地・黒ボク土
	15	25

※普及センター調べ

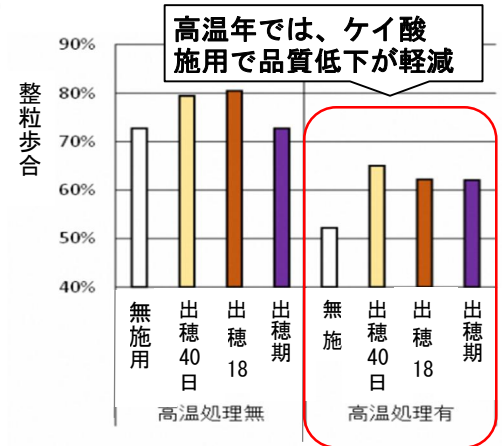


図6 ケイ酸追肥時期別の整粒歩合 (H28年、農総研基盤)

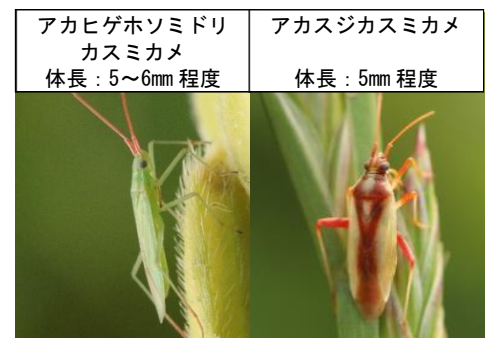


図7 主な斑点米カメムシ類

出穂前は、雑草内で増殖 出穂後は、ほ場内に侵入・加害

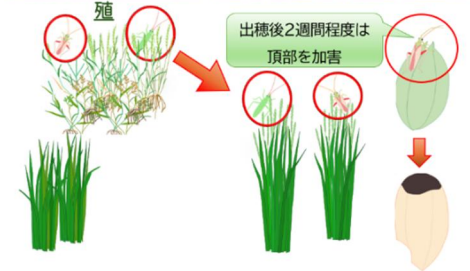


図8 斑点米カメムシ類の生態

(図7, 8の出展: 新潟県斑点米被害対策パンフレット)



図9 葉いもち

(左: 病斑、右: 葉いもちによる萎縮・枯死)

山火事注意 野焼きは法律で禁止されていますのでやめましょう!